

第10章：夢を語る素晴らしさ！

小学校の卒業アルバム（卒業文集）に皆さんは何を書きましたか？恐らく将来の夢のようなことを書いた方が多いと思います。その夢って実際に実現していませんか？実は私、実現しました。たいした夢ではないんですが、簡単に言うと、将来日本で最も人口の少ない鳥取県から当時私が知っている大都会・大阪に住むと言う夢でした。ちなみに、当時は東京には一度も行ったことはありませんでした。大学から大阪で一人暮らしをして、9年前に大分に仕事でFA・フリーエージェントするまで、約15年大阪に住んで生活することが出来ました。さっきも言ったように、全然たいした夢ではないのですが、社会人になって自分の卒業文集を見返した時に、夢が現実になっていることに驚き、夢は叶うと言うことを実感しました。語ると言うより、書き記す方が後で振り返れるし、書く時に思考が整理されてより具体的な行動に繋が

っていくように感じます。さらに、証跡として残るので、書いたことに責任を持つようになると思います。その力を私は知っているので、次男の中学受験では推薦入試の作文で書いたことが、きっと将来実現すると思い、試験対策で下書きを何度もしている姿を嬉しく思いました。この経験だけでも、中学受験をした意味はあると思います。

ちなみに、次男の将来の夢はオーストラリアで日本食のレストランのオーナーになり、オーストラリアで働く日本人の憩いの場所を提供したいと言うものでした。

～抜粋版です～

全文読んでみたいと思われた方は完成版を小冊子として送付させていただきますので、メールにてお問合せください。